

お知り合いの方にぜひご案内願います！！

## きぼっこキャンプ参加児童・生徒募集！！



2026

小学校 5 年生から高校 3 年生までの、肢体不自由児と障がいのない子どもが親元を離れて、トレーニングを受けたボランティア・リーダーとともに、夏4泊5日、冬1泊2日、共同生活をつくる場(キャンプ)です。

きぼっこキャンプでは、子どもたちの話し合いによりプログラムを創ってゆきます。

\* 猛暑、クマ出現のリスクにより、テント生活等の野外活動はおこないません。

1. 行事名 第53回きぼっこキャンプ
2. 主催 社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会 肢体不自由児協会事業  
きぼっこキャンプ実行委員会
3. 後援 宮城県肢体不自由児者父母の会連合会
4. 期間 (夏季・冬季キャンプの2つのキャンプを合わせて第52回きぼっこキャンプです)  
夏季キャンプ 8月13日(木)～17日(月) 県障害者福祉センター  
冬季キャンプ 12月26日(土)～27日(日) 県七ツ森希望の家
5. 対象者 宮城県内の小学校5年生から高校3年生までの肢体不自由児と障がいのない子ども合わせて7～8名程(女子のみ。男性ボランティアの応募がありませんでした)
6. 参加費 20,000円(夏・冬合わせて)  
※施設利用料(宿泊費、食事代)、飲料水・オヤツ代、医薬品・保険費用、プログラム用品代等 (不足分は県民の方々による協賛金等で賄います)
7. コロナ感染状況により、日程変更等の検討が必要な時は、変更案を提示して説明させていただきます。

## お知り合いの方にぜひご案内願います！！

### 8. キャンプ参加申込について

- ①キャンプに参加希望される方は、電話でお申し込みください。
- ②参加申込書を郵送（またはメールに添付します）受け取り後、必要事項を記入して返送願います。
- ③参加希望者へのきぼっこキャンプ説明

※肢体不自由等障がいのある児童生徒は定員に達しました。

**障がいのない児童生徒を募集しています。**

※7月20日（土）10：00～ 参加者打合せ会を予定しています。於：宮城県障害者福祉センター  
参加困難な場合はご連絡ください。

### 9. 事務局（申し込み、問い合わせ先）

社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会 肢体不自由児協会事業  
きぼっこキャンプ担当 末田（すえだ）

TEL 022(293)2902

E-mail kibounoko@shinsho-miyagi.or.jp

## 第52回きぼっこキャンプ実施計画書（抜粋）

### 1. 趣 旨

- (1) 豊かな自然と青少年活動に熱意と関心を持ち、選ばれて訓練を受けたキャンプリーダーの援助のもとに、障がいのあるものと障がいのないものが共に楽しい集団生活（キャンプ）を送り、のびのびと明るく、そして強く成長することを願う。
- (2) キャンプ生活を通じて生活経験を広げ、活動と話し合いの中から相互理解を深め合い民主的な共同生活の責任と連帯を養う機会となることを願う。
- (3) 地域社会との関わり合いの中から正しい相互認識と、人間社会の多様性を学び、社会連帯感を強めることを願う。
- (4) 障がいのある子ども（主に肢体不自由児）と障がいのない子どもとが正しい相互理解の上に立ち、新しい価値観を獲得することを願う。

#### ■「障がいのある子ども」に対して

- (1) 様々な体験をすることで、経験の範囲が広がり、成長の糧となること。
- (2) 同年代の多くの子どもの考え方や生活にふれ、生きていく上での刺激を受けること。
- (3) 集団の中で、多くの仲間と行動を共にすることで、対人関係の機微を身につけ社会化されること。
- (4) 「障がいのない子ども」と体験を共有することで、社会参加への自信と意欲が高められること。

#### ■「障がいのない子ども」に対して

- (1) 「障がい」を観念的に理解するのではなく、人間性を認め合い、共感的に理解することが出来ること。
- (2) 社会的不利を生み出す要因や、ノーマライゼーションの思想に触れ、人権保障の意識を高めるきっかけとなること。